

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 25. 5. 22 第 183 回国会第 13 号

5 月 22 日（水）、第 13 回の委員会が開かれました。

1 経済産業の基本施策に関する件並びに私的独占の禁止及び公正取引に関する件

- ・茂木経済産業大臣、菅原経済産業副大臣、山際内閣府大臣政務官、島尻内閣府大臣政務官、平経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

勝 俣 孝 明君（自民）

- ・企業の設備投資を促進するために、今後どのような政策を実施していくのか。
- ・我が国の経済成長のために新たな産業の創出が必要だと考えるが、開業率を高めるために具体的にどのような施策を実施していくのか。

國 重 徹君（公明）

- ・介護ロボットの普及のための最大の課題は価格の問題だと考える。介護ロボットの利用者に対する予算措置や介護保険の適用を検討すべきではないか。価格の問題を解消するための措置について茂木経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・介護ロボットの有用性について、介護現場に対する普及啓発を行うことが必要だと考える。この点について茂木経済産業大臣の認識を伺いたい。

近 藤 洋 介君（民主）

- ・原子力政策大綱と原子力委員会の在り方について早急に見直すべきと考えるが、茂木経済産業大臣の認識を伺いたい。
- ・民主党政権下でも主張していたとおり償却資産に係る固定資産税の見直しが必要だと考えるが、茂木経済産業大臣の認識を伺いたい。

後 藤 齋君（民主）

- ・科学技術イノベーション総合戦略はどのように成長戦略へ反映させるのか、政府の見解を伺いたい。
- ・水素燃料電池自動車は水素供給インフラに課題があるが、その開発・普及の現状及び今後の見通しについて伺いたい。

丸 山 穂 高君（維新）

- ・法人税率の引下げや農業改革など、踏み込みが足りない規制改革について政府はどのように認識しているのか。
- ・不遇な若い世代を支えることが将来の国益につながると思うが、政府はどのような人材の育成が必要だと考えているのか。

今 井 雅 人君（維新）

- ・2002 年 4 月、特定鉱害復旧事業によって基金を創設することで国は石炭政策の幕引きを図ったが、国の責任をどのように捉えているのか。また、基金の積増しを行う必要があるのではないかと考えるが、政府はどのような取組みを行っているのか。

井 坂 信 彦君（みんな）

- ・特定の産業を対象とした個別具体的な規制緩和だけでなく、より多くの産業に効果が生じるような骨太で異次元の規制緩和が必要であると思うが、茂木経済産業大臣はどのように考えているのか。
- ・世界銀行の調査によると、我が国の起業のしやすさは世界第 114 位となっており、起業コストの低減や創業期の人材の流動化を図ることが必要だと考える。この点について茂木経済産業大臣の認識を伺いたい。

塩川 鉄也君（共産）

- ・東京電力福島第一原子力発電所において汚染水の移送のために利用している耐圧ホースに関しては、トラブルや事故が相次いでいるため、恒久的な施設による抜本的な措置が重要であると考えている。この点につき茂木経済産業大臣はどのように考えているのか。
- ・地下水バイパス計画について、地元漁連からは、風評被害だけでなく、実際に海域が汚染されると漁場を放棄せねばならないとの声があるが、こういった国や東京電力への不信感について茂木経済産業大臣はどのように考えているのか。

2 株式会社海外需要開拓支援機構法案（内閣提出第32号）

- ・茂木経済産業大臣から提案理由の説明を聴取しました。